

中札内村総合行政推進委員会 第2回まちづくり部会 会議録

日 時 令和3年8月17日（火） 19:00～20:30
場 所 役場庁舎 会議室2
出席委員 島田浩幸、五十嵐真也、菅野貴赦、下埜智加、神山大知（5名）
欠席委員 桑田尚行、瀬川 亮、鳥倉華以、二宮多恵（4名）
事 務 局 総務課長 川尻年和、教育次長 阿部雅行
総務課長補佐 渡辺大輔、総務課主査 竹村幸二

議 事

（開 会） 19:00

（川尻課長） 皆様お忙しい中、まちづくり部会に出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日と来週の二日にわたり、令和2年度に実施した事業の内部評価結果と次期まちづくり計画について、皆さんから意見を頂くこととなりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、部会長から挨拶をお願いいたします。

（部会長） 皆さん、お疲れさまです。コロナ禍の中、皆様ご苦労されていることと思います。

事務局から説明があったとおり今週と来週にわたって審議していきますが、感染防止の観点からスピーディーに進めたいところです。

本日は、よろしくお願いいたします。

（川尻課長） これからの議事は、部会長の進行で進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

（部会長） それでは、審議を進めさせていただきます。

審議事項の令和2年度事業に関する政策評価と村長公約の進捗状況及び次期まちづくり計画前期基本計画について、概要説明について事務局の方から願います。

（渡辺補佐） はじめに、政策評価の概要等について説明します。

「政策評価」とは、行政が実施している施策や事務事業について、業務の内容・成果を点検・検証し、その評価結果を次の政策の立案や推進に活かすことによって政策の質的向上を図るための行財政改革の一つの手法であります。

また、村のまちづくり基本条例の第9章に政策評価を実施し、村民参加による評価を行うことと規定しています。

評価にあたっては一次評価として担当課による評価、二次評価として村長に

よる評価、三次評価として総合行政推進委員会による村民評価の３段階で評価を行い、それぞれの視点で事業に対する検証・評価を行っています。

令和２年度に実施した事業評価については、まちづくり計画の節毎の３６項目について実施しています。

村長公約の進捗状況は、３２公約について実施状況の確認を行い、令和２年度における状況は、実施済みが２５公約、一部実施が７公約となっています。

以上が政策評価の概要になります。続いて、次期まちづくり計画の基本計画について説明します。

資料の６ページの下段計画期間図をご覧ください。

基本計画は、令和４年度から７年度までの前期４年間で取り組む施策になります。

７ページをご覧ください。

５つの基本目標を掲げ、その目標を細分化した体系図になり、政策ごとに計画を立てています。

今回、現行の第６期まちづくり計画後期基本計画に基づき実施した事業の成果や進捗状況の評価して、次期の第７期まちづくり計画に反映していきます。

以上で説明を終わります。

(部会長) 今、政策評価及び基本計画の概要について説明がありました。
 続いて、各実施事業の審議を始めて行きたいと思います。進め方について、事務局から説明をお願いします。

(渡辺補佐) 本日のまちづくり部会では、教育委員会に係る令和２年度事業に関する政策評価と次期まちづくり計画の基本計画について審議を行います。
 進め方としては、全部を説明すると時間が掛かりますので、ポイントをしぼり、政策ごとに政策評価と基本計画を合わせて説明した後、皆さんから意見を伺いたいと思います。

(部会長) ただいまの進め方についてはよろしいでしょうか。
 (意見等なし)
 それでは、教育委員会から説明をお願いします。

(阿部次長) ー資料に基づいて説明ー

(部会長) ただいま教育委員会から説明がありました。それではみなさんの方から質問、意見ををお願いします。説明のあった所以外でもかまいません。

(部会長) 上札内小学校の児童は減少傾向にありますが、学校の存続について何を基準として区切りにするのですか。

- (阿部次長) 基準はありません。行政側から統合の話をするのではなく、地域とまず話し合うという流れになります。山村留学と同時に地域を活性化し児童を増やしていく必要があります。山村留学の生徒ばかりになっては学校として成り立たないですし、欠学年がいっぱい出てくるような事態になれば、山村留学をやめて統合しなければならないと教育委員会では考えています。
- (部会長) 少人数のメリットとデメリットは当然あり、大勢だからこそ得られるものもあるだろうし、少人数だから得られるものもあると思います。現状を分からないで発言しますが、中札内小学校と行事だけは一緒にやれると良いと思います。
- (委員) 図書館ボランティアなどのボランティア発掘の面で方策はありますか。また、部活動において、テニスコートやグラウンドなどの設備も新しく出来たら良いと思うのですが、整備の予定はありますか。
- (阿部次長) 図書館ボランティアは固定化されていて、なかなか新しい人は入ってこない状況です。まずは関わってもらって仲間を増やしていくことが大切だと思っています。学校の設備は、ベンチや照明など細かなところは修繕してきており、学校と相談しながら、優先順位を決めながら進めています。
- (委員) 英語検定を受験する人が増えていないことはどう考えていますか。
- (阿部次長) 毎年40名程度で推移しており、広報紙や校長会、教頭会などで周知しています。年3回試験がありますが、部活動に力が向いている生徒も多く、増えてきていない状況もあるので、学校での後押しがもう少しあれば増えると思っています。
- (委員) 英語検定を受験するメリットはありますか。
- (阿部次長) ハワイの生徒との交流に積極的に参加できることになると思っています。参加条件に英語検定3級以上を条件にしたらという話題が出たこともあります。
- (委員) みんなが英語を好きなわけではないので、押しつけではなく取り組めたら良いと思います。
- (部会長) 検定も級が簡単な時点では結果が出るので良いですが、難しくなってくるとそれなりの努力が必要で、そこをどう後押ししていくかが大事なところだと思います。
- (委員) 学力向上につながっていますか。

- (阿部次長) 取り組む生徒とそうでない生徒で差が出ています。
- (委員) 文化財の旧杉村サイロや石見神楽の保存の取組が弱いと思っていて、石見神楽は上札内小学校が取り組んでいます、保存会の方の高齢化も進んでいて、どうやって傳承していくのか村として考えはありますか。
- (阿部次長) 地元地域以外の方も呼び掛けて、ポツポツと会員は入っています。仮に上札内小学校が統合された場合には、案として上札内地域にこだわらず、中札内小学校に取り組んでもらうことも考えています。保存会の方も同様の考えであればよいと思っています。
- (川尻課長) 川越市との交流は総務課も担当になっているので補足します。
川越産業フェスタでは、特産品の販売をしてくれています。コロナ禍で去年はできませんでしたが、収束したら再開したいと思います。課題にある住民レベルでの交流が出来てないので、提携20周年の節目に訪問するなど、これから検討していきます。また、中学生の受け入れ時のホームステイ先の確保に苦慮しており、キャンプでの宿泊にするなども考えています。
- (委員) 十勝管内の屋外施設の有料化が進んでいますが、パークゴルフ場やサッカー場などは、村で管理していくのは大変だと思っていて、今後も村として無料で続けていく方向なのでしょうか。
- (阿部次長) 有料化を検討した当時、有料化するには管理者を置かなければならないため、かえって経費がかかることから無料の方が良いという結論に至っており、当分、屋外施設の有料化の考えはありません。
野球少年団などの利用者には、散水など管理に協力してもらっています。
- (委員) 村外からの利用者也増えてくると管理が大変になると思います。
- (部会長) 他町村のパークゴルフ場は、有料化して人が行かなくなったと聞いており、今後、人が増えて有料化を検討する場合は、近隣自治体の状況も参考にしたらよいと思います。
- (委員) 利用者が道の駅に寄ったりして、地域の活性化につながっている面もあるかと思います。
- (部会長) 文化創造センターは図書館に行くことはあるでしょうが、それ以外で大人が普段からあてもなく行くことはないです。
- (委員) 体育館やプールなど立派な施設はありますが、村民はほとんど利用していな

い状況で、しかし、外の人からすると村の評価は高く、移住された方は積極的に利用されている方が多いです。

(阿部次長) 利用するきっかけづくりとして、プールの初心者教室や運動教室で器具の使い方を指導していますが、なかなか伸びていきません。

(部会長) 田舎だからこそ、人の目が気になり、一人でプールを利用していたのを見られたくない人もいて、わざわざ帯広の施設へ行っている人もいます。
移住された方のほうが、村内施設をのびのび使っているのではないかと思います。

(委員) 人の目は確かに気になると思います。自身もあまり村の施設は利用していません。

(委員) 村の施設はあまり使っていません。体育館は、年1回くらい利用するかどうかです。

(委員) 音まちプロジェクトは、村民価格にしてもあまり来ていないです。帯広で同様のコンサートをしたらいっぱいになります。
料金の問題ではないとは思っていて、費用対効果はわかりませんが、続けて定着してくると見に来る人も増えると思います。

(委員) 国際交流は、現在中学生の交流ですが、大人向けのハワイとの交流の考えはあるでしょうか。鹿追町ではカナダと実施していると思います。

(阿部次長) まずは、子どもたちの交流で考えています。
中学生の交流が続いて、まち同士が友好都市などの提携を結ぶことになれば、大人も交流していく可能性はあるかもしれません。
何か縁がなければ、いきなり提携ということにはならないです。

(委員) 何をもって提携することになるのでしょうか。

(阿部次長) 福野町はイモの交流から始まり、川越市は六花亭の相原美術館が縁で友好都市になりました。中学生の交流が続いていけば可能性はあります。

(部会長) 他に無ければ、今日の審議はこれで終了したいと思います。
その他、次回の委員会について事務局からお願いします。

(渡辺補佐) 次回は、8月24日に産業課に係る施策について審議を行いますので、よろしくお願いいたします。

(部会長) 最後に、全体を通じて何かございますか。
 以上もちまして、まちづくり部会を終了させていただきます。長時間にわたり大変お疲れ様でした。

(閉 会) 20：30